

科目名		国語Ⅱ（現代文・古文）（JapaneseⅡ）							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	物質工学科 経営情報学科	履修	2 単位	必修	講義	通年	60 時間		
担 当 教 員		【常勤】 准教授 赤迫照子							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	(1)読む力:文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得することができる。読書を楽しむことができる。 (2)書く力:授業の内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。読書感想文が書ける。 (3)話す力:適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。 (4)聞く力:授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	文法事項を理解し、作品を鑑賞できる。常用漢字の読み取り問題が80%以上できる。多様な視点で古典文学を鑑賞できる。文学史の流れを把握できる。読書の楽しみ方が習得できる。	文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字の読み取り問題が70%できる。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。読書を楽しむことができる。	文法事項の理解は不十分であるが、作品を読解できる。常用漢字の読み取り問題が60%できる。古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得できる。読書に取り組める。	文法事項が理解できず、作品を読解できない。常用漢字の読み取り問題が60%以下しかできない。古典文学に親しむことができない。文学史の基礎知識を習得できない。読書に取り組めない。					
到達目標 ②	授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。段落同士の関係を意識した、論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が80%以上できる。	授業内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が70%できる。	授業内容をノートにメモすることができる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。常用漢字の書き取り問題が60%できる。	授業内容をノートにメモすることができず、板書も写せない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。常用漢字の書き取り問題が60%以下である。					
到達目標 ③	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。	適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。	音読ができる。自分の意見を述べることができる。	音読ができない。自分の意見を述べることができない。					
到達目標 ④	授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートのまとめ作業に繋げることができる。	授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。	授業のポイントを的確に聞き取ることができる。	授業のポイントを聞き取ることができない。					
学習・教育到達目標		(G)①		JABEE基準1(2)					
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	35	10	20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】	○	○							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 、 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	国語 I
教科書	「高等学校現代文B」(第一学習社)「高等学校古典B」(第一学習社)
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書
学 習 上 の 留 意 点	
・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 ・読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。 ・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること ・古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ※注意 国語 I (3単位)の最終成績は、国語 I (現代文・古文)と国語 I (漢文)を2:1として評価する。	
担 当 教 員 か ら の メ ャ セ ー ジ	
国語 I に引き続き、学力の要となる国語の力をしっかり鍛えます。人は、自分を取り巻く世界を「ことば」で理解します。「ことば」を学ぶということは、他者と関わる方法を知ることです。そして、他者と関わるということは、自分が生きる世界を広げていくことです。何事も最初から決めつけたりせずに、「ことば」で考えながら様々な角度で物事を見てみましょう。あなたの世界は必ず、広がっていきます。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス 評論(一)①	シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。	予習と復習:シラバスを熟読する。
2	評論(一)②	田中真知『『美しい』を探す旅に出よう』を読み、評論文を読む方法を身につける。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。
3	評論(一)③	・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
4	変体仮名を読む	・仮名文字の成り立ちと文学活動の連関について理解できる。 ・変体仮名の読み方を習得できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
5	古文 随筆①	『枕草子』を読み、古典文学の鑑賞方法を身につける。	予習:教科書本文を読んでおく。
6	古文 随筆②	・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・随想及び『枕草子』の基礎知識を習得できる。 ・作品に関わる人物について理解できる。 ・現代における享受のありかたを理解できる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
7	古文 随筆③		
8	詩	茨木のり子「わらしが一番きれいだったとき」を読み、詩を鑑賞する方法を理解する。 ・音読を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
9	前期中間試験		
10	答案返却・解説 評論(二)①	試験解説により、問題の解き方を理解する。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。
11	評論(二)②	小林隆「日本語史の『当たり前』」をもとに評論の読解の方法を身につける。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
12	評論(二)③	・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	
13	評論(二)④		
14	古典文学史	・主要な古典文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。	復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
	前期末試験		
15	答案返却・解説 読書感想文の書き方	・試験解説により、問題の解き方を理解する。 ・読書感想文の書き方を学習する。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	小説①	重松清「タオル」を読み、小説を自分なりに鑑賞する方法を理解する。 ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握できる。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
17	小説②		
18	小説③		
19	近現代の文学史	・近現代の主要な文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。	予習と復習:学習プリントのチェック事項を理解する。
20	評論(三)①	榎本博明「自己とは一つの物語である」を読み、評論文の読み方を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
21	評論(三)②		
22	評論(三)③		
23	後期中間試験		
24	答案返却・解説 物語①	『源氏物語』を読み、古典文学の鑑賞方法を身につける。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 ・場面を読解し、味わうことができる。 ・『源氏物語』の基礎知識を習得し、現代に至るまでの享受の様相を知る。	予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
25	物語②		
26	評論(四)①	古郡延治「メディアの豊かさ」を読み、評論文の読み方を身につける。 ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。	予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。出題された「考察」を行っておく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。
27	評論(四)②		
28	評論(四)③		
29	評論(四)④		
	学年末試験		
30	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、問題の解き方を理解する。	
総 授 業 時 間 数			60 時間

科目名		国語Ⅱ（漢文）（JapaneseⅡ）								
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第2学年	物質工学科	履修	1 単位	必修	講義	前期	30時間			
担 当 教 員		【常勤】教授 畑村 学								
学 習 到 達 目 標										
科目の到達目標レベル		①漢文の基本的な文法(訓読の方法、書き下し文等)が理解できる(レポート、定期試験) ②漢文の内容やレポート課題を簡単な図解にすることができる(レポート、定期試験) ③授業内容を踏まえて自分の意見を意見文にまとめることができる(レポート、定期試験)								
到達目標(評価項目)		優れた到達レベルの目安		良好な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標①		レポート評価でA以上を取得できる。 テストで8割以上正答できる。		レポート評価でB+を取得できる。 テストで7割正答できる。		レポート評価でBを取得できる。 テストで6割正答できる。		レポートが提出できない テストで5割以下しか正答できない。		
到達目標②		レポート評価でA以上を取得できる。 テストで8割以上正答できる。		レポート評価でB+を取得できる。 テストで7割正答できる。		レポート評価でBを取得できる。 テストで6割正答できる。		レポートが提出できない テストで正答できない。		
到達目標③		レポート評価でA以上を取得できる。 テストで8割以上正答できる。		レポート評価でB+を取得できる。 テストで7割正答できる。		レポート評価でBを取得できる。 テストで6割正答できる。		レポートが提出できない テストで正答できない。		
学習・教育到達目標		G①		JABEE基準1(2)						
達 成 度 評 価 (%)										
評価方法 指標と評価割合		中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		30	30		40					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎	◎		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】		○	○		○					
汎用的技能 【 】										
態度・志向性(人間力) 【 】										
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】										

関 連 科 目 、 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	国語Ⅰ
教科書	「高等学校古典B」(第一学習社)
補助教材等	「カラー版新国語便覧」(第一学習社)
学 習 上 の 留 意 点	
○教科書の漢文を返り点、送り仮名に従って書き下し文になおせるように漢文の基礎をしっかり学習する。 ○漢文の読解を中心とした学習を行いながら、漢文をテキストにしてコミュニケーションスキルを磨く授業も行う。 ○具体的には、今後さまざまな場面で必要となる図解資料の作成方法や、意見文の書き方である。 ○授業では、ほぼ毎時間プリントを配布する。そのため、プリントを整理するファイルを準備しておくこと。 ○国語Ⅰ(3単位)の最終成績は、国語Ⅰ(現代文・古文)と国語Ⅰ(漢文)を2:1として評価する。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	
○漢文に対するイメージには、中国の古い文章であり、漢字が並んだ意味のよく分からないものがある。しかし、漢文は、日本の文化や思想、日本人の精神を形成するのに重要な役割を果たしており、そのことを前提として授業を行う。 ○授業の中にペア・グループ活動、図解、発表などの活動をどんどん取り入れる。身体全体でさまざまなスキルを身につけてもらうつもりである。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	○シラバスを用い、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解できる。 ○授業の方法、配付資料の整理の仕方を理解できる。	シラバスを確認する。 配布資料を確認する。
2	漢文の読解と図解①	○漢文訓読の方法に従って、漢詩や漢文を訓読できる。 ○教科書掲載の漢詩・漢文を読解し、鑑賞できる。 ○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。 ○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。 ○基本的な図解資料を作成することができる。 ○図解の技法を用いて漢詩や漢文を要約し、習得した図解の技法で身の回りの様々な事象を図解できる。 ○授業では、教科書に掲載される「故事・寓話」「古代の史話」「漢詩の鑑賞」を中心に扱う予定である。	○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でプリントやノート等を書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・ ※ 切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。
3	漢文の読解と図解②		
4	漢文の読解と図解③		
5	漢文の読解と図解④		
6	漢文の読解と図解⑤		
7	漢文の読解と図解⑥		
8	漢文の読解と図解⑦		
9			
10	答案返却・解説 漢文と意見文①	○教科書掲載の漢文を読解できる。 ○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。 ○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。 ○文章に書かれていることを理解した上で、書かれていることに対する「意見文」を、200～400字で書くことができる。 ○授業では、教科書に掲載される「儒家の思想」を中心に扱う予定である。	○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でプリントやノート等を書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・ ※ 切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。
11	漢文と意見文②		
12	漢文と意見文③		
13	漢文と意見文④		
14	漢文と意見文⑤		
	学年末試験		
15	答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、訓読漢文の理解をさらに深めることができる。	
総 授 業 時 間 数			30 時間